

# ひかりのこ

4月園便り

認定こども園  
聖ミカエル幼稚園  
2021年4月8日

月主題：ひとりひとりの名を呼んで

## 「喜びをもって」

皆様、ご入園、ご進級おめでとうございます。今年は、いつになく温かな春のスタートです。園庭の雪も今年はすっかりなくなって、早くお外遊びが始められそうです。

新入園の皆さん、ミカエルによろこばいりました。ミカエル幼稚園は、一人一人のお子さんを大切にしている幼稚園です。ミカエルで子ども様がすくすく大きく成長することを願っております。保護者の皆様、もし育児や幼稚園のことでご不安や分からないことがございましたら、お気軽に教職員にお声をかけてください。

ご進級した皆さん、4月には担任の先生が変わり、年少さんや、転園の新しいお友達がクラスに加わり、新しいことだらけですので、新しい先生やお友達をどうぞよろしくお願いたします。いろいろ教えてあげてくださいね。先輩のお父様、お母様方も、新しく入られたお父様お母様をどうぞよろしくお願いたします。

先生たちは、新年度の保育に向けて、この春休みたくさん準備をしてきました。どんな一年になるのか、園長の私もとっても楽しみにしています。

子どもたちも保育者も保護者も、みんな喜びをもって幼稚園生活を送ってくださることを願っております。

さて、ミカエル幼稚園は、来年度大きく変わります。7月から園舎の建て替え工事が始まり、2月には新園舎が完成する予定です。とっても素敵な園舎になる予定です。そして来年度からは、0～2歳児も受け入れる幼保連携型認定こども園に生まれ変わります。詳しくは、4月末の総会でお話します。どうぞお楽しみに。

園長 渡部 良子

## キリスト教保育

### 「文化としてのキリスト教保育」

新年度にあたり、幼稚園の母体である聖ミカエル教会を代表してご挨拶を申し上げます。

日本のキリスト教の歴史は、戦国のキリシタン時代を除けば、まだ150年余りに過ぎません。明治の開国当初、キリスト教禁制が解かれた後も、多くの日本人はキリスト教に警戒感をもっていました。しかし、キリスト教が入って来ても大丈夫なんだと少しずつ思われるようになった背景には、当時の外国のミッションが率先して病院や教育機関を設置して、それまでの日本では光が当たっていなかった女子教育や幼児教育を熱心に始めたことがあります。以来、ミッションスクールは、一定の評価を得るようになり、今では日本の文化の一部になったと言えるかもしれません。

ミカエル幼稚園もそのようなミッションスクールの一つです。聖書に「自分を愛するように、あなたの隣人を愛しなさい」という言葉がありますが、キリスト教保育は、まずは自分を肯定し、大切にすること、そして他者を愛をもって受け入れるという、キリスト教の根幹を柱にしています。そして、このことは、クリスチャンであろうがなかろうが、すべての人に当てはまる価値観に違いありません。私たちの幼稚園はまだまだ発展途上にありますが、保護者の皆様のご協力を得て、常に新しく作り変えられる幼稚園でありたいと思います。今年もよろしくお願いたします。

チャプレン 司祭 下澤 昌